

| no. | 企業名 | 商品内容 | “茨木さん”なポイント |
|-----|---|---|---|
| 1 |  整髪料メーカー ナンバースリー (小川町4-16) | 1951年創業の美容室向け毛髪化粧品・医薬部外品メーカー。カラーリングやパーマ剤などサロン用の製品の他、シャンプーやスタイリング剤「デューサー」といったネット通販で人気の商品も。 | |
| 2 |  接着剤メーカー アルテコ (西駅前町5-8) | 1965年創業。瞬間接着剤・エポキシ系工業用接着剤メーカー。ホームセンターでも手に入る瞬間接着剤アルテコブランドの他、模型メーカーのOEM商品などで高い国内シェアを誇る。 | |
| 3 |  プラズマテレビ「ビエラ」 パナソニックプラズマ ディスプレイ(PPD)本社 (松下町1-1) | 国内トップシェアはもちろん、世界でもトップを争うプラズマディスプレイの製造拠点は、かつて松下電器テレビ製造事業部がおかれた松下町に本社を構える。 | ビエラの土着性は、1958年にブラウン管テレビ増産のために完成した茨木工場の系譜をなぞるよう。ここで生まれたフラッグシップモデルだけに「茨木モデル」と呼びたい。 |
| 4 |  ゆであずきメーカー 橋本食料工業 (沢良宜西2-17-29) | 1905年創業の100年企業。大阪市西区で創業し生産拡大のために1967年に茨木工場建設とともに本社を移転。こしあんやおしるこを手軽に作ることができる同社の製品は、家庭のみならず和菓子界に衝撃を与えた。 | 和菓子店・風月庵南坊(別院町4-17)では、みどり姫(抹茶大福)やきなこ姫(きなこ大福)を販売。茨木市民のおもたせにも重宝される。 |
| 5 |  ソフトクリームメーカー 日世 (宇野辺1-1-47) | 1947年創業のソフトクリーム総合メーカー。日本にはじめてソフトクリームを紹介した老舗であり、ホテルやレストランなど飲食店向けにコーンや機械などの商材一式を手がける。 | |
| 6 |  こんにゃく・とうふメーカー 伏見屋 (田中町2-16) | 1891年創業、5代にわたってこんにゃくととうふを作り続けてきた老舗メーカー。新感覚の低カロリーレシピ「子ブタ注意報」など時代に対応した新商品を考案。 | 京都にあった屋号「伏見屋」が高槻へ移り、その後茨木市で創業。茨木の地で培われた伝統の技と、和へのこだわりを感じる企業である。 |
| 7 |  洋菓子店 ドエル本社 (中総持寺町4-41) | 茨木総持寺に本店を構え、北摂に6店舗を構える洋菓子店。外国人パティシエを常に招き入れ、技術交流に努めるなど、茨木洋菓子文化を支えるお店。 | 早くから茨木に洋菓子文化を伝えた功績は大きく、定番のお店として市民に親しまれている。 |
| 8 |  フランス菓子店 ル・クラフティ (駅前3-1-2) | 2009年オープンフランス焼き菓子専門店。カップに入ったデザートは季節の果物をふんだんに使いバリエーションも豊富。カフェスペースではキッシュも味わえる。 | 人気のクレーム・ブリュレ(280円)は姉妹店のフレンチ「フォン・ド・タナハシ」(駅前1)の定番。卵は「土岐鶏卵」から仕入れる赤玉子を使用と地元食材へのこだわりに共感。 |

| no. | 企業名 | 商品内容 | “茨木さん”なポイント |
|-----|---|---|--|
| 9 |  玉子専門店 土岐鶏卵 (元町6-36) | 中央銀座商店街内で生みたて茨木産地玉子を販売するお店。創業52年。店頭だけでなく、喫茶店や料理店、ケーキ店などへの配達も含めて1日1万個を売る人気店。 | 「地元産の安心できる食材を」という思いに応える飲食店も多く、玉子つながりで茨木市内のお店が繋がっているのもユニーク。 |
| 10 |  尺八製造販売 雅楽音堂(うたねどう) (鮎川4-18-29) | 常時300本の製品在庫を誇る尺八専門メーカー。1尺1寸～2尺3寸の豊富なサイズ、琴古・郡山・明暗、各流派の尺八がそろそろ。7孔加工・割れ修理巻き・唄口入替・中継ぎ修理も。 | 材料の竹を周辺で調達できるのも、自然豊かな茨木ならではの。「万博のために竹林を切り開いた」という歴史も思い出させてくれる。 |
| 11 |  豆腐店 茨豆(いばとう) (元町5-20) | 1926年創業、茨木神社の北にある豆腐店。国産大豆・天然にがり・ミネラルウォーターを使ったほんまものの味。店頭には並ぶ豆腐は1種類だけという潔さ。 | 茨木の豆腐、略して「茨豆」というその名からも、地元へのこだわりがうかがえる。 |
| 12 |  ケーキ店 聖磁堂 (西中条町5-19) | 「ガンバカステラ」「茨木童子チーズケーキ」などご当地菓子を作るケーキ店だが、カステラを焼く技術は本物。かつてはハイヤーで迎えが来たほどのカステラ職人が、ご当地菓子の味を支える。 | ご当地ものにチャレンジする心意気と、泣く子もだまらず本物の味にポイント。 |
| 13 |  食品調味料メーカー キンリューフーズ (下穂積1-7-5-702) | 1970年に設立。焼肉のたれ「金龍」と「銀龍」を看板商品に、最高級焼肉のたれ「豊ゆたか」、リーズナブルな「焼肉のたれファミリー」、手軽にできる「浅漬けの素」などタレのプロフェッショナル企業。 | |
| 14 |  味付海苔メーカー 久後商店 (豊川3-5-28) | 1962年に設立。国産の昆布・鰹・エビを惜しげもなく使い出汁をとり、醤油・みりん等で味付けし、社長が自らが丸1日かけて仕上げる。 | 定期的に工場直売セールも開催され、地元の人たちに愛されている。 |
| 15 |  酒造メーカー 中尾酒造 (宿久庄5-32-12) | 明治2年創釀。茨木市の米と水を使い、杜氏たった一人で仕込む純米吟醸酒「凡愚」、特別純米酒「龍泉」。 | 純米吟醸生酒「見山(みやま)」は地元農家と酒屋の全面協力で幻の酒米「三島雄町(みしまおまち)」を復活させて仕込んだまさに茨木の地酒。 |
| 16 |  攪拌機メーカー ミスギ (南耳原2-13-2) | 1975年に創業し、塗料攪拌機を独自に開発。その名も「まぜまぜマン」。塗料や溶剤を容器に入れたままかき混ぜるマシンとして製造現場を支えるアイデア商品。 | |

| no. | 企業名 | 商品内容 | “茨木さん”なポイント |
|-----|---|---|--|
| 17 |  太陽光発電建材製造 ゴウダ (東福井1-12-13) | 1971年設立。段ボールのリサイクル事業から建材加工、施工、パッケージ等事業を拡大。近年は太陽光発電の建材を製造販売、さらには施工技術者を育てる学校まで設立。 | 茨木市上郡にはゴウダC&Eビルを2007年に完成。地元茨木に北摂最大級の書店を構え、太陽光発電のショールームとなっている。 |
| 18 |  石材メーカー 射場石利石材 (新和町16-19) | 元禄十五(1702)年創業。現在6代目となる。播州赤穂藩で弓の師範をしていた祖先が、主君浅野内匠頭切腹でお家断絶、主君の菩提を弔うために石工になったのがルーツと言われている。 | 摂津国島下郡村島ン代で「石利」という暖簾を掲げたのが1702年。現在は地元の石材屋として、小学校の総合学習を積極的に受け入れるなど、地元密着度がうかがえる。 |
| 19 |  エレベーターメーカー フジテック (庄1-28-10) | 世界20カ国、55カ所に企業拠点・生産拠点を置くエレベーターメーカー。茨木市にあるビックフィットは、1965年より製造と研究の拠点として稼働。 | 1975年に完成した世界最高・最大を誇る地上150mのエレベーター研究塔は茨木市のランドマークでもあった。 |
| 20 |  和菓子店 菓匠石州 (春日1-12-30) | 茨木城主片桐且元の甥で石州茶道の始祖・片桐石州にちなんだ茨木銘菓。 | |
| 21 |  精肉店 とり糸 (元町8-3) | 明治元年、木下糸太郎が茨木で創業。周囲から「糸太郎の鶏肉は美味しい」と評判を呼び、いつしか屋号は「とり糸」に。1900年初頭、いち早く但馬牛に目を向け、茨木を代表する肉屋に。 | 「特別な日はとり糸で買ったお肉で」というのが地元の定番。割烹片桐は茨木の奥座敷として、地元の政財界から市民にまで広く親しまれている。 |
| 22 |  パン屋 大黒屋 (駅前3-3-3) | 1948年創業のパン屋。玉子ロール、カレーパン、クリームパン、ホットドック、フィッシュロールなど定番の味が人気のお店。 | 茨木市民にとっては定番のお店。ふと食べたくなる懐かしい味なのだとか。 |
| 23 |  和菓子・餅 ひらのや (春日4-3-23) | 早朝6時半に開店して午前10時頃には売り切れる人気の大福は有名。おはぎや桜餅など少量しか作らないプレミアム感もそそる。 | |
| 24 |  立ち食いうどん たつみや (別院1-4) | 阪急本通商店街の一角にあるうどん店。かけ250円、きざみ、わかめ、玉子300円、天ぶら330円と良心価格。あまりの“だし”の美味さに「売ってくれ」という客もいたとか。 | 「子どもの頃、お屋におこづかいを渡されてよく行った」という懐かしい思い出など、茨木市民にとっては馴染み深い店。 |